

令和 8 年 2 月 2 7 日

国土交通省関東地方整備局

相模川水系広域ダム管理事務所

宮ヶ瀬ダムの現在の貯水状況等についてお知らせします

～運用開始以降最少の貯水量を更新しています～

神奈川県の水がめである宮ヶ瀬ダムでは、昨年 10 月 14 日から、河川に必要な流量を継続的に放流しておりますが、昨秋からの少雨傾向によってダムの貯水量は減少し、運用開始以降最少の貯水量を記録しています。

2 月 17 日に気象庁が発表した「北・東日本太平洋側と西日本の少雨に関する全般気象情報」によると、東日本太平洋側では、昨年 11 月中旬から降水量の少ない状態が続いており、この状態は、今後も 1 ヶ月程度は続く見込みとされており、ダムの貯水量がさらに減少することが想定されます。

相模川水系広域ダム管理事務所では、関係機関と連携して、ダムに貯められた水を無駄なく運用しておりますが、少雨傾向終息の先行きが不透明なことから、気象庁から発表される長期予測も踏まえた貯水量の見通しに応じた調整を関係機関と行っております。

《2 月 26 日 0 時 宮ヶ瀬ダムの貯水状況》

宮ヶ瀬ダム 貯水量 61,554 千 m³ 貯水率 34 %

(平成 28 年から令和 7 年までの 10 年間の平均の貯水率 78 %)

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 厚木記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 相模川水系広域ダム管理事務所

電話：046-281-6911 (代表) FAX：046-281-5696

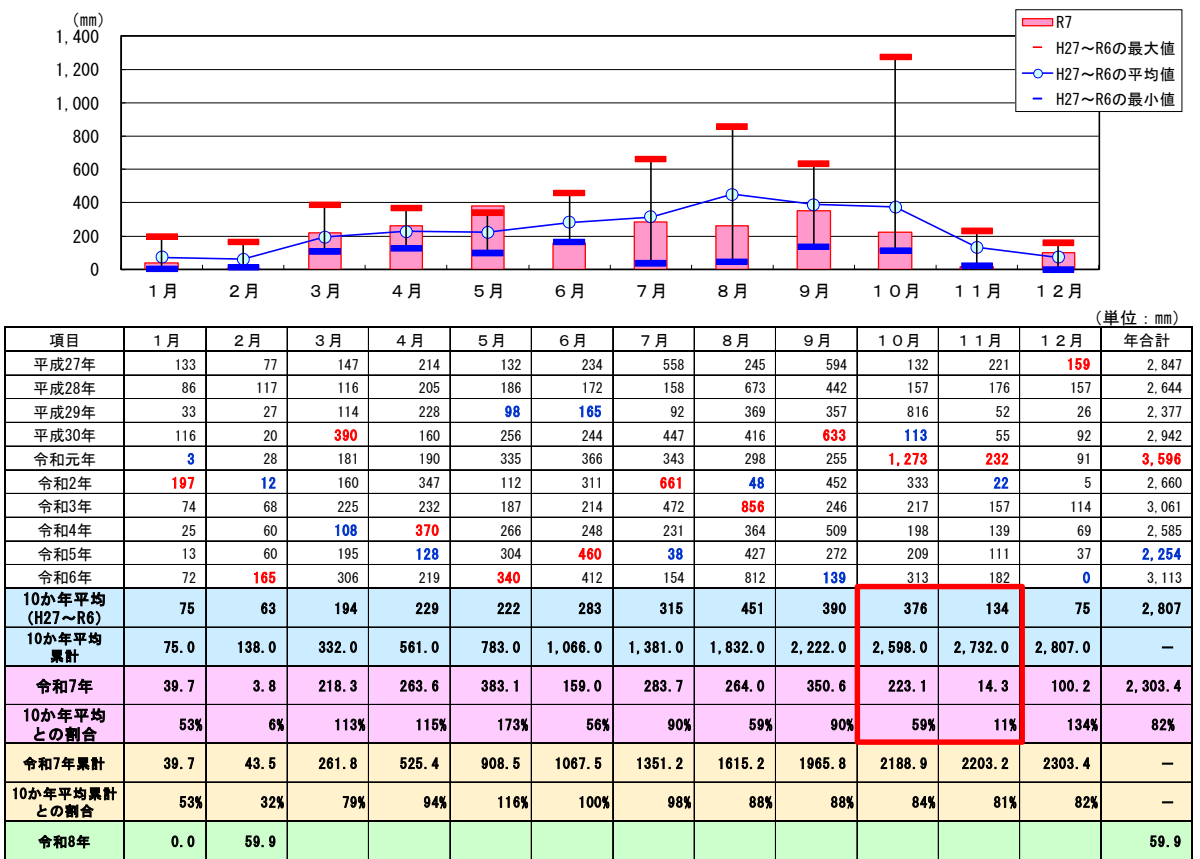
広域水管理課長：尾崎(おさき) (内線：341)

1. 宮ヶ瀬ダム上流域平均降水量の状況

宮ヶ瀬ダム上流域における降水量は、昨年3月から5月までは平年（平成27年から令和6年までの10年間の平均）を上回りましたが、6月から11月までは、7月と9月の月降水量が概ね平年並みとなったものの、その他の月では平年を大きく下回り、11月は宮ヶ瀬ダムの運用開始以降、最小の月降水量を記録しています。

また、令和7年における累計の降水量は、平年の2,807mmから約500mm少ない2,303mmとなり、宮ヶ瀬ダムの運用開始以降2番目に少ない年降水量を記録しています。

その後も1月の月降水量は運用開始以降最少の0mmを記録し、2月の月降水量は、26日0時の時点で平年の4割程度の降水量を記録しています。



令和8年2月26日 0時現在

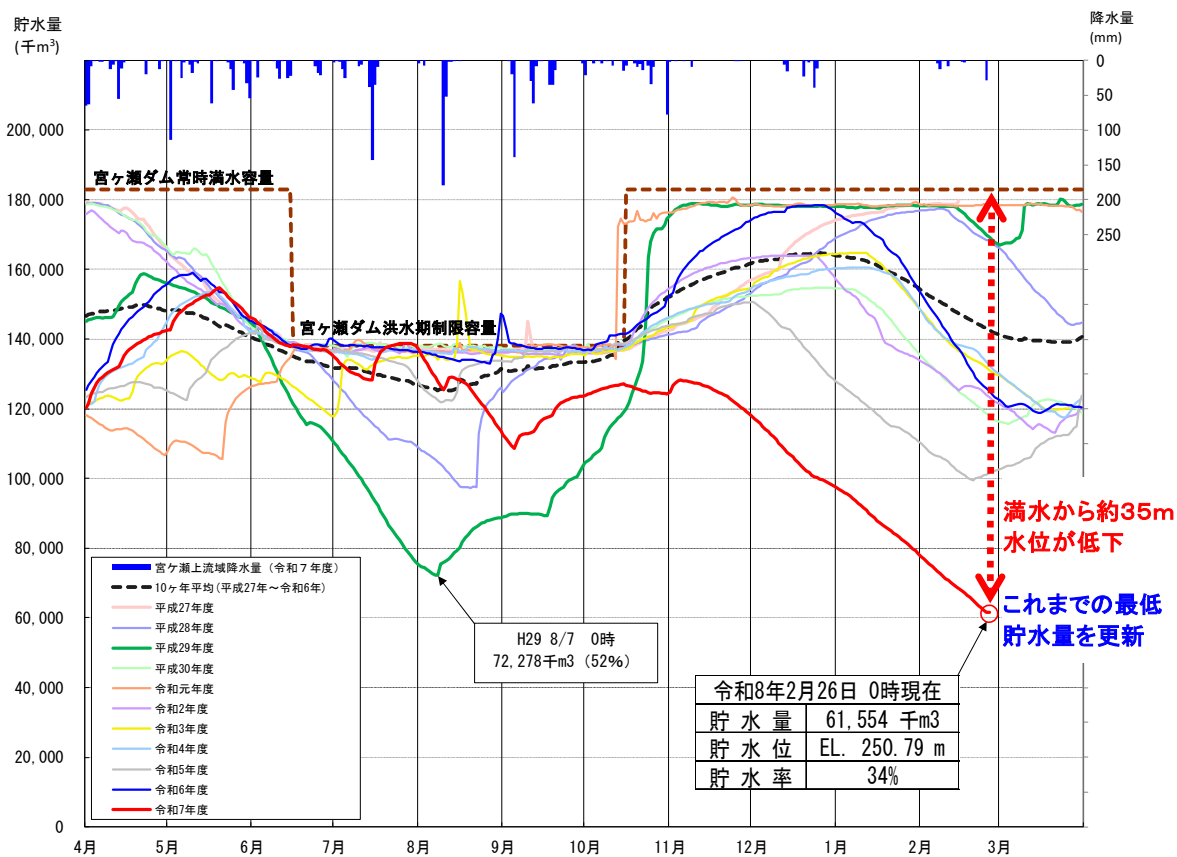
※降水量は速報値であり、確定値と異なる場合があります

図－1 宮ヶ瀬ダム上流域平均降水量

2. 宮ヶ瀬ダム貯水量の状況

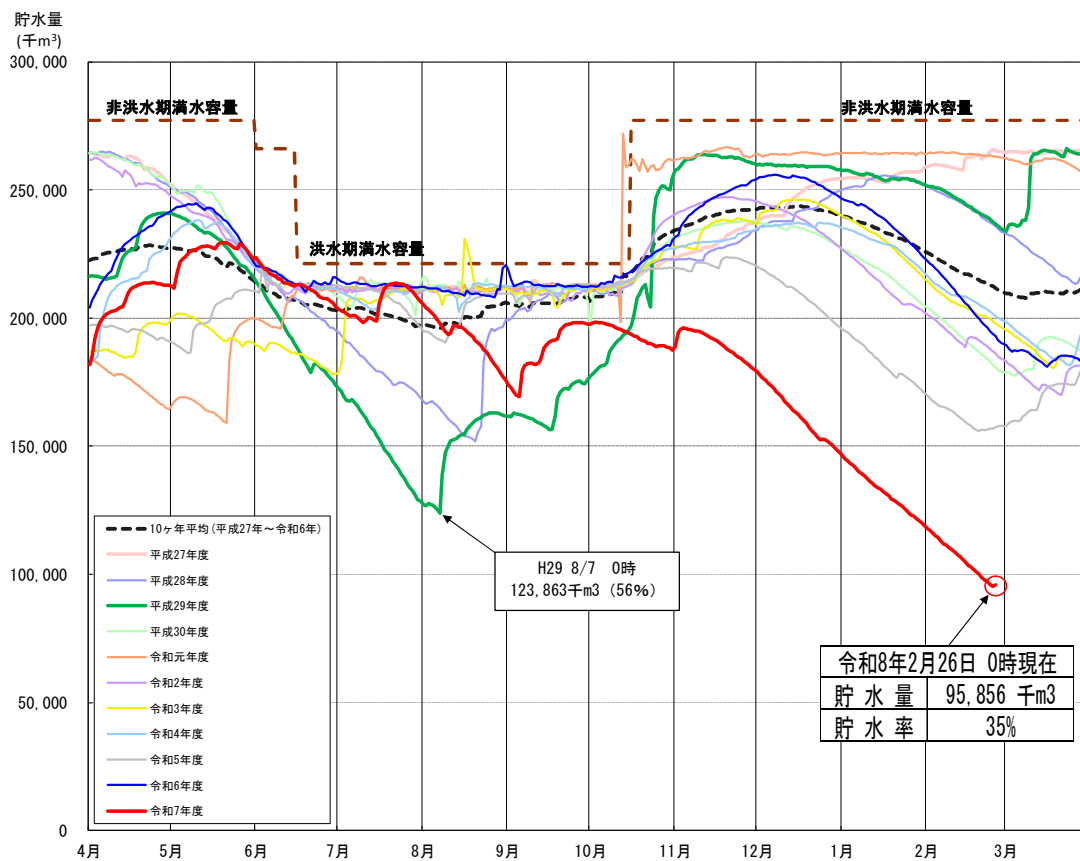
昨年7月30日には洪水期における満水まで貯水量があり、少雨傾向によって貯水量は低下したものの、9月4日から5日にかけて、宮ヶ瀬ダム上流域で159.3mmの降雨があったことにより、貯水量は上昇傾向にありました。

その後、10月14日から、水道用水に必要な水を補うための放流を開始したことによって、貯水量は低下傾向となり、降雨により一時的な貯水量の上昇はあったものの、貯水量は低下し続け、2月に降雪及び降雨がありましたが、2月26日0時の時点において、運用開始以降もっとも少ない貯水量を更新しています。



図－2 宮ヶ瀬ダム貯水量図

【参考①】 相模湖・津久井湖・宮ヶ瀬湖 3湖の合計貯水量の状況



図－3 相模湖・津久井湖・宮ヶ瀬湖 3湖の合計貯水量図

【参考②】宮ヶ瀬ダム貯水状況の写真



【R6. 12. 17 10 時 EL. 285. 08m (貯水率 98%)】



【R8. 2. 26 9 時 EL. 250. 87m (貯水率 34%)】

図ー４ ダムサイト上流側の貯水状況



【R6. 12. 17 10 時 EL. 285. 08m (貯水率 98%)】



【R8. 2. 26 9 時 EL. 250. 87m (貯水率 34%)】

図ー５ ダムサイトの貯水状況